

事業評価の審議結果について

令和4年2月24日、国庫補助事業に係る道路事業評価委員会において審議した新規採択時評価及び再評価の審議結果について、下記のとおりお知らせします。

1 事業評価結果

(1) 新規採択時評価

一般国道107号 白石峠工区（大船渡市、住田町）

	総事業費 (百万円)	計画交通量 (台/日)	使用 OD	評価結果
評価結果	9,400	5,800	H27	事業実施が妥当

(2) 再評価

一般国道281号 案内～戸呂町口工区（久慈市）

	総事業費 (百万円)	計画交通量 (台/日)	使用 OD	評価結果
評価結果	3,416	2,600	H27	事業継続が妥当

2 議事概要

(1) 一般国道107号 白石峠工区

(委員①) 時間短縮はどの程度見込めるか。

(県) 4分程度を見込んでいる。

(委員①) 大船渡港から内陸部へ資材・材料を運搬するために必要なルートか。

(県) 内陸と大船渡港の相互の運搬に使用するルートとなる。

(委員②) 県で実施する事業評価と異なる点は何か。

(県) 交通量の算出方法が異なり、県の事業評価時においては、交通量センサスの台数に、振興局ごとの伸び率をかけて算出している。これに対し今回の評価においては、H27の交通量調査時に起終点調査を実施し、そのデータから交通量を算出している。

(2) 一般国道281号 案内～戸呂町口工区

(委員①) 新規事業の扱いとなるか。

(県) 当該工区は継続事業であり、国の補助事業の種類が変わるもの。

(委員②) 久慈港の原木移出量が5年間で5倍となっているが、需要が高まっている認識で良いか。

(県) 民間企業や森林組合への聞き取り結果であり、国としても国産材の使用推奨等の背景もあり増加している。

(委員②) 原木の取扱いは今後も増加していく見込みか。

(県) 現状の伸びを見る限りでは増加していくと見込まれる。